

「維新」政治



Q & A どうみる

Q 自民と共産・民進が組むのは野合では？

昨年(2015年)11月の大阪府知事・大阪市長ダブル選挙で、「維新」は「野合」攻撃に狂奔しました。

「国政で対立する自民党と共産党が大阪で手を組むのはおかしい」

しかし、大阪での「反維新」の共同は、国政では異なる政策を持つ政党、団体であって

ダブル選での「野合」攻撃

「異質の危険」に共同

「維新政治を終わらせる」というスローガンを掲げました。

日本共産党大阪府委員会



日本共産党大阪府委員会の地方議員研修会で「大阪の共同の到達点と前途について」報告する柳利昭

・党府副委員長 8月25日、大阪市

は、党利党略でなく、府民の利益を守る立場から、「反維新」の立場を表明した栗原貴子知事候補、柳本頭大阪市長候補をそれぞれ自主的に支援する態度をとりました。

「野合」とは、「バラバラなものが手を組む」「ひそかに通じる」ことです。それは首相官邸と密談し、公明党とも衆院選小選挙区での取引を進めた「維新」にこそ当てはまります。

大阪における「反維新」の共同の大義と根拠は明瞭であり、さまざまな曲折をはらみながらも、堺市長選挙や大阪市の住民投票を経て、この一点では互いの信頼や共感も生まれており、さらに政策的な一致点を積み上げることが可能でした。

しかし、ダブル選挙では、この大義に立って、「大阪をこう変える」という旗印を鮮明にすること、また「反維新」の共同を住民投票のときのよう

に府民の前に鮮明に打ち出すことはできませんでした。首相官邸による「維新」への「野合」批判、そのもとでの自民党大阪府連の「共同」排除などが作用しました。そして、これらを打ち破れなかつた大阪の日本共産党と共同勢力の力不足がありました。

堺市長選、住民投票の勝利とダブル選の敗北。大阪ではここから、「さらにしっかりとした『反維新』の共同を」と

新たな決意のもとでの取り組みが始まっています。